

# 風光る



作：藤井 宏子さん(けやきの木分会)

青年部とは、青年組合員の要求を実現させるための専門部門です。

昨年度の反省やアンケートをもとに今年の青年部は「この指とまれ」という合言葉をもとに、今仕事に忙しくて大変だと感じている人、プライベートも組合も、日々の忙しさに余裕がなく、発散できずにしんどい人も元気が出る活動をしていきます。

内容としては、年間計画を決め、ボーリングやスポーツ大会だけでなく子育て世代が繋がれるごはん会、一人暮らしのためのクッキングも企画しています。そこで気の合う仲間ができれば、

一緒にやりたい人や興味を持った人は地本まで連絡下さい！  
 新青年部もよろしくお願ひします！

## ☆青年部総会☆

役員交代、15年度の総括、16年度の活動計画案など  
 “こんなことやりたいよ”という声をたくさん出して  
 楽しい活動をつくっていきたくて思います。  
 参加者は地本まで連絡して下さい。  
 もちろん、当日参加もOKです。

日時：6月10日(金)  
 場所：東館4階 会議室  
 時間：19時00分～

そのあとみんなで美味しいご飯を食べに行こう、(^o^)

## 新青年部始動！「この指とまれ」



## 【新コーナー】地本カルトクイズ



組合員がたくさん増えています。新しく組合の仲間になってくれた皆さんに、もっと東海地本のことを知ってもらおうと新コーナーを考えました！

昨年は、結成25周年にあたり、記念行事も盛大に行い、25年の歴史の積み重ねを後に伝える記念誌も作成できました。この記念誌を中心に、毎号の風光るに3問の地本カルトクイズを出題します。皆さん、ぜひご応募ください。

### 【3回目の当選者】

お題：新年度の抱負は？→

山本 香澄さん(かわらまち分会)

「一年間元気に働けるように、組合活動もがんばりたいです」

八萬 史織さん(かわらまち分会)

「初めて障害児のいるクラスを担当するので障害児保育を学び実践をつんでいきたいです」

### 【3回目の正解】

- 1問：愛知県民集会所がスタートしたのは何年？→1999年
- 2問：2016年1月23日の地本委員会の発言は何本？→20本
- 3問：第1回グリフェスの目標参加人数は？→300人

### 【第4回目カルトクイズ】

第1問：今回の参院選は何月？？

第2問：2016年度のグリフェスの参加人数は？

第3問：南こうせつがきた「愛と平和コンサート」のスローガンは？

お題：今年の夏の楽しみは？

応募方法：FAXかメールでお気軽にご応募ください！  
 FAX：052-881-2998/E-mail：fukuhotk@onyx.dti.ne.jp  
 (件名にカルトクイズと記入願ひます！)

回答応募の際には「お題」にそって一言メッセージも書き添えてください。全問正解の方のうち、3名の方のメッセージを紙面に掲載し紹介します。見事掲載された方には地本風光るから1000円の図書カードを進呈します！

ぜひぜひ、ご応募ください！ まってま〜す!!  
 応募締切：6月30日(木)

## 第3回出張臨パ部会

〜非正規に忌引きはありますか？〜



4月9日(土) かわらまちで行った第3回出張臨パ部会

今回で3回目となる出張臨パ部会、19人の参加で行うことができました。

各分会に向けて行ったアンケートをもとに、気になることを出し合いました。

「忌引きのない正規職員はないけど、非正規は忌引きがほとんどないね。』ある」と回答されていたも、これは自分の年次有給休暇で取得するものだねえ」「夏休みもそうだねえ」などなど。かわらまち保育園では非正規職員にも特別有給休暇としての忌引きが2日間あります。

また、交流の中で、「次年度の契約更新日が決まっているから『あの人は来年度の声をかけられているのに私はまだだわ...』という心配で落ち込むことも無い」「管理職と話す機会もあるので改善して欲しいことを伝えられる」「伝えたら改善の努力をしてみよう」という信頼感がある「希望すれば基本的に毎年継続雇用してもらえる」など安心して働き続けられる内容が出されました。勤務体制がバ

【編集後記】  
 新年度も無事(?) 始まりましたが、なかなか人事異動で動いた配置に慣れず日々奮闘しております。なんなんでしょうね、もっと早く体制考えてやれよかと思っちゃいますね。みなさんの職場はどうですか？さて、風光る編集委員になって半年くらい経ちましたが、まだまだ編集作業に頭を悩ませています。ただ、やるからには「楽しくやろう！」「読んでもらえる風光るをつくらう！」など思いながら編集委員同士であ

だこーだ言いながらやっています。こないだは僕がお酒なんぞも持ち込んでみたんですが、みんな運転で飲めず。今度は電車できてやろう。うん。そして飲もう。ちなみに、地本カルトクイズ、25周年誌見ながら作っています。よかったら分会始まる前の5分でも風光ると25周年誌ひろげてみんなで考えてくれたらなーと思ってます。いつか「応募殺す(笑)」とか言いたいです(西やん)

## 2016夏期組合学校

7/16(土)午後～7/17(日)午前まで  
 場所：中部国際空港東横イン



臨パ部会に興味がある方、ぜひ定例会(第1木曜日 19時・労働会館東館4階)に来てください。

いつ、福祉職場が働きたい職場になるためのものでもあります。私たち臨パ部会でも要求実現のために仲間と共に向かっていきたいです。

### 【風の音】

保育園に就職して5年が経ち、3月末で退職しました。振り返ると就職してから初めてのことはありましたが、先輩方に色々教えてもらいながらやってきたなと思います。5年間あっという間だったなと思いました。

仕事が終わった後もバザーなどのことや組合活動など色々やるのがあり、友達の職場の話や職場だと思っていました。組合では、去年から執行委員になり、情勢のことや他の職場の人たちのことを聞いたり、初めは、自分から立候補してなっていないけれど、たくさん勉強することができました。就職するまでは、ニュースや新聞を見ることはなかったのですが、保育園に就職して、情勢が自分たちにも関わっているものも色々あって、聞いたり見たりと自分自身が少し成長できたかなと思えました。実は、組合活動は仕事後からなので「今日もあるのか」と思う日もありました。分会で自分たちが働いている職場をよりよくするためにあることを教えてもらっていました。自分が執行委員になって他の職場の人たちの話を聞いて、より組合の大切さがわかるようになりました。5年間の保育園での仕事は、子どもたちとたくさん関わって、楽しくやることがある仕事で、組合活動も大変だったけれど、これから自分が見つけた他のやりたいことに向かって頑張ろうと思います。(天)

# 座談会

## 「選挙行ってる?」

### 最近、真剣に考えます 保育や社会保障…と政治

7月の参議院議員選挙を前に「座談会」を企画しました。出席者は・・・  
 塚本洋平さん (めいほく障害部分会)  
 酒井美咲さん (天白福社会分会)  
 西田知也さん (地本書記次長)

#### 選挙「行ってる?」

塚本「選挙は行ってますね。大学卒業してから中国に留学していたんですが、その時になれば毎回行ってます!」  
 酒井「私は、大事な選挙の時に行ってます。」  
 西田「え、どういう事?大事な時って、例えば?」  
 酒井「え、何だろう?総理大臣決める選挙とか?」(笑)市長選には予定があつて行けなかつたです。予定さえなければ行きます。(笑)」  
 西田「ちなみに僕は土日に仕事が多いので、平日休みの時に期日前投票しに行っていました。だから毎回選挙に行ってます。」

#### 二十歳になったら行くも のですが、選挙に行こう と思っただけか?

酒井「とりあえず行ってみようかな?」  
 西田「20歳だし、記念に1回行ってみようかな?」(笑)  
 でも大事な時には行くつもりで、ただ、それは何で?」  
 酒井「政治家が言ってる事とやってるのが違うし、国民の意見を聞いてくれないからです。政治家に対して思うことがあります。」  
 塚本「僕は、家族が当たり前に選挙に行く家庭だったから行くのが当たり前だと思っただけかな?それにつつすらだけと憲法9条が大事だとかは思っただし、そしたら、自民党のままは嫌だなと思っただけかな?」  
 西田「僕も当たり前に選挙に行く家庭だったから。日曜日の朝に起こされて連れてかれた(笑)ただミハーだけ

#### いつか選挙行きたいの?



(左から)酒井さん、塚本さん、西田さん

酒井「私は就職してからですね。20歳すぎでちょうど就職だったし。」  
 西田「自分は大学生の時かな?自由をはき違えてる人が嫌いだった。何もしないのに文句ばかり言っただけに何にも変わらないうらみ、みたいな。」  
 酒井「私はそう思っていて、それは国民の意見を聞いてもらえないから、諦めるんだらうなとは思っただけ。でも選挙になった時は『聞いて!』って思うから行ってますね(笑)」

#### 選挙で大事なことは?

塚本「でも最近ですよ、選挙のことをこんなに考えてるの。10万人集まった8・30を現地で見たり、NPTに参加したりして一人一人の声を上げるのが大切なんだと思えましたからね。」  
 西田「今時ならインターネットでもあるよね、自分の考えが近い政党を調べてくれるサイトとか。」  
 酒井「職場とか組合とかニュースとかで情報を得て、保育を良くしてくれるところを選んでます。」  
 西田「自分も新聞とかでまとめるの読むかな?あれ見ただけだと、わかりづらいから今までのこと考えたり、議席数考えたりして。」  
 塚本「行きます!がんばります!」  
 酒井「たぶん行きます(笑)」  
 西田「たぶん(笑)」  
 酒井「ただ今後の日本がかかっている選挙だから、行くべきだと思います。」  
 西田「ちなみに僕も行きます!」

#### 7月には参院選がありますが、行きますか?

「今日はありがとうございました!」  
 酒井「今、保育のことが言われるのに何もしてくれないし、動いてくれるところに票をいれたいです。」  
 塚本「この仕事をして、社会保障を削られているから、人を大事にする社会になりそうな政党にいたいな。」  
 西田「行くの正直当たり前だと思っし、自由を満喫するには責任が伴うと思う。だから選挙行くし、自分たちの訴えたいこと伝え続けることが大切かなと思っってます!」  
 いかがでしたか? 共感できること、へえ~そうなんだあ... いろんな感想を持たれたのではないのでしょうか? この座談会が、選挙や政治について職場や友人、家族で気軽に意見交換できるきっかけになればと思います。7月の選挙は、日本の進路をめぐる大事な選択を一人一人に求められます。一人の有権者として、主権者として、大事な1票をしっかりと考えて行使したいですね。(編集部)



(左から)間部鈴子さん、山田信子さん

## 「シリーズ・名物組合員」 のぎく分会 間部さん、山田さん

私たちがぎく保育園分会の名物組合員は...2人! 昨年度定年退職をされた給食室のまべちゃん(間部鈴子さん)と、元気がいっぱい信ちゃん(山田信子さん)です。  
 「組合って...?」  
 間部ちゃん「昔はクラスの扉や椅子が壊れているから直して下さいってことも組合が要求してたよね(笑)こじんまりして細かい言葉出し合って要求していくのいいな。中でも給食室職員の賃金B等級へUPしたのは印象的だった。職種が違っても全員の共通の要求になってくれたのが素敵。分会内で年齢差あるけれど、せひ若い子にもどんな意見をだしてほしいな。」...組合って先輩がたくさん話してよくわからないうんだよねという若い方いると思います。私もそうでした。でも何  
 も難しいことではなく日々の大変さをなんでも自由に話している場なんですよね。そこから要求が生まれていくわけだから。間部ちゃんの話のように、若い子たちにも意見をだしてほしいのはもちろん各分会の先輩たちも若い子が自然と意見を出せるような環境を意識して作ってあげることがすごく重要だなと感じました。  
 信ちゃん「ちいさなつばやき、要求、大変さをみんなのものとして共有して闘っていくことが大切困ったことがあっても我慢したりやめていく職場づくりはいかん!退職するまで組合員でいたいな。」  
 ...なんとも力づよい言葉...忙しい中でも、組合員が集まって何気ないことでも少しづつみんな話をしていくことやったりとって大切ですね。仲間だから諦めたくないなと感じました。  
 「これからの夢は...?」  
 間部ちゃん「定年まで働けてよかった。65歳までは働き続けたい。平和。ずっと願い続けたいです。60歳になって映画料金が安くなつたのでいっぱい観たいです!」  
 信ちゃん「健康で元気に動いてLIVEにいっぱい行きたい! KPOP、LOVE!」  
 本心に力持ちの先輩方がいてとても心強いです。まだまだたくさんのこと、学んでいきたいです。これからもよろしくお願ひします。



## グリーンフェスティバル hand in hand あたたかい仲間とつながろう!



5月7日は、グリーンフェスティバルでした。実行委員として、2月から、新年度で忙しい時期もありましたが、新入組合員とつながるにつれて、



仲間がいるって嬉しいと感じられるように、そして、素敵な会になるように、係りに分かれて、話し合いを進めてきました。  
 当日は新入組合員54人・見学者6人を含め、全員で220人の参加でした。各支部や分会、臨パ部会の組合員が協力して、おいしい食事をみんなが楽しく食べることができました。



企画では、新入組合員によるジェスチャーゲームは、お題に合わせて前の人の動きを忠実に後ろの人につなげます。その姿は、見ていられるも思わず笑みがこぼれて、ほっこり暖かい空気が流れていました。全体での人間知恵の輪では、8色のチームに分かれて対戦しましたが、2回戦とも見事なチームワークで黄緑チームが優勝しました。その他のチームも、お互いに声を出し合ったり、ほっとけぞりモヤモヤしている人もいましたが、ゲーム終了後にも何人かで集まって挑戦している姿もあり、盛りあがりを感じました。オープニングで、歌を披露した障害協バンドから、最後にもう一曲、ザ・ハイロウズの『日曜日よりの使者』を演奏してもらった、会場全体が一つになり、みんなが笑顔で歌う姿がありました。

そして、今回のテーマである『Hand in Hand あたたかい仲間とつながろう』の通り、仲間がいることを感じ、分会や支部での繋がりを感ずる素敵な会になりました。